

Round 7 | 8 | 9



● Infomation

circuit スポーツランド SUGO (宮城県村田町)
 date 6/22 **sat** 6/23 **sun**
 weather 晴れ時々曇り 雨
 spectators 15,700人 (sat 6,400人 + sun 9,300人)

SUGO

Outline

2024 年全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権のRound7・8・9 が6月22日(土)・6月23日(日)にスポーツランド SUGOで行われた。初日の Round7 がドライコンディションだった一方で、Round8・9 は雨模様のレースとなったなか、Round8 で中村仁が初優勝を飾るなど、3 レース全てで表彰台にのぼる活躍をみせた。ランキング首位で今大会に臨んだ野中誠太は予選で後方に沈んでしまうも、3 レースともに順位を上げて Round9 では今季3 勝目をマークした。古谷悠河は Round7 の5 位が最上位。小林利徠斗は Round8 で3 位表彰台を獲得した。

Result

35 Driver 中村 仁 JIN NAKAMURA

モビリティ中京 TOM'S 320 TGR-DC



| | Rd.7 | Rd.8 | Rd.9 | Driver Rank |
|----|------|------|------|-------------|
| 予選 | 4位 | 2位 | 2位 | 3位 |
| 決勝 | 2位 | 1位 | 3位 | |

| | Rd.7 | Rd.8 | Rd.9 |
|--------|-------------|----------------------------|----------------------------|
| 予選タイム | P4/1'13.440 | P2/1'13.037 | グリッドは第7戦の決勝レース結果 |
| ベストタイム | P2/1'14.912 | P1/1'32.093 Fastest Lap | P3/1'32.454 Fastest Lap |



36 Driver 野中 誠太 SEITA NONAKA

PONOS Racing TOM'S 320 TGR-DC



| | Rd.7 | Rd.8 | Rd.9 | Driver Rank |
|----|------|------|------|-------------|
| 予選 | 8位 | 8位 | 4位 | 1位 |
| 決勝 | 4位 | 7位 | 1位 | |

| | Rd.7 | Rd.8 | Rd.9 |
|--------|-------------|-------------|------------------|
| 予選タイム | P8/1'13.750 | P8/1'13.599 | グリッドは第7戦の決勝レース結果 |
| ベストタイム | P4/1'14.879 | P7/1'32.954 | P1/1'32.632 |



37 Driver 古谷 悠河 YUGA FURUTANI

Deloitte HTP TOM'S 320



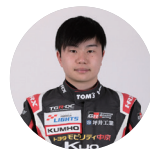
| | Rd.7 | Rd.8 | Rd.9 | Driver Rank |
|----|------|------|------|-------------|
| 予選 | 5位 | 7位 | 5位 | 7位 |
| 決勝 | 5位 | 6位 | 6位 | |

| | Rd.7 | Rd.8 | Rd.9 |
|--------|-------------|-------------|------------------|
| 予選タイム | P5/1'13.515 | P7/1'13.437 | グリッドは第7戦の決勝レース結果 |
| ベストタイム | P5/1'14.972 | P6/1'32.818 | P4/1'32.913 |



38 Driver 小林 利徠斗 RIKUTO KOBAYASHI

モビリティ中京 TOM'S 320 TGR-DC



| | Rd.7 | Rd.8 | Rd.9 | Driver Rank |
|----|------|------|------|-------------|
| 予選 | 6位 | 5位 | 7位 | 4位 |
| 決勝 | 7位 | 3位 | 5位 | |

| | Rd.7 | Rd.8 | Rd.9 |
|--------|-------------|-------------|------------------|
| 予選タイム | P6/1'13.574 | P5/1'13.290 | グリッドは第7戦の決勝レース結果 |
| ベストタイム | P7/1'14.986 | P3/1'32.519 | P5/1'32.642 |



予選



Qualifying detail

予選1回目はライバルの先行を許すも、
2回目で中村が2番手グリッドを獲得する。

今シーズン2大会目となるスポーツランド SUGO での3連戦。ランキング首位の野中を中心に、木曜日の練習走行から精力的に走り込み、レースに向けて準備を進めた。

土曜日の公式予選では気温と路面温度が上昇し、前日までとは異なるコンディションとなった。ライバル陣営も手強い中で、上位に食い込む走りを見せたのが中村。1回目のセッションで4番手タイムを記録すると、2回目ではさらにタイムを更新して、トップから0.012秒差の2番手につけた。小林はコース上の混雑を避けて他車とは違うタイミングでタイム計測を試みたが、トップには届かず1回目で6番手、2回目で5番手に終わった。古谷は1回目で5番手を獲得するも2回目でタイムが伸びず7番手となった。

今大会をランキング首位で迎えた野中は全体的にペースが上がらず、両予選ともに8番手と苦しい結果に終わるも、挽回を目指してエンジニアとミーティングを重ねて、決勝レースに備えた。

After Qualifying



2回目の予選では
消極的になり過ぎました。

ドライバー 中村 仁

35

今回はクルマもすごく良かったのですが、1回目で大きなミスをして4番手に終わりました。2回目でそこを修正できたのは良かったですけど、若干消極的になり過ぎたという部分もありました。まだまだ未熟だと感じる場所がありました。



両方の予選ともに
速さを見出せませんでした。

ドライバー 野中 誠太

36

今週は全体を通して遅れをとっていると感じています。ドライビングの悩みからセットアップも良い方向にいかなくて、全体のレベルが下がる結果になりました。クルマとタイヤが昨年とは異なるので、そこにもっと合わせていかないと行けないと思います。



予選2回目に向けた修正が
うまくいきませんでした。

ドライバー 古谷 悠河

37

練習走行の最後はトップとの差が大きかったので、セッティングも含めてトライしました。予選ではフィーリングが改善されていましたが、1回目の予選で気になるブレーキの症状があったので、対策して2回目に臨みましたが、タイムを上げられず、順位を下げる結果となりました。



コンディションへの対応など、
色々学ぶことがあった予選でした。

ドライバー 小林 利侖斗

38

練習走行で他車に引っかかることがあったので、予選では周りとは異なるタイミングでピットアウトしましたが、結果的には自分の思い描いたようなクリアラップは取れなかったため、改めて予選の進め方を考えないといけないと思いました。



今週は中村と小林の勢いが、非常に良いと感じています。

チーム監督 山田 淳

練習走行から特に中村の勢いが良いと感じていました。2回目ではトップと0.01秒差で2番手だったので惜しかったですね。小林も2回目のタイムは決して悪くはないですし勢いはあると思います。もっと伸ばせる場所もあると思うので楽しみです。

Rd.7 ●天候：晴れ ●気温：30℃ ●路面温度：45℃
Rd.8 ●天候：雨 ●気温：18℃ ●路面温度：22℃
Rd.9 ●天候：雨 ●気温：19℃ ●路面温度：23℃

決勝



Qualifying detail

**雨のRound8で中村が初優勝。
Round9では野中が今季3勝目を飾る。**

22日（土）の15時35分から26周で争われたRound7 決勝（26周）では、4番グリッドの中村が好スタートを決めて3番手に上がると、後半に1台を抜いて2位に入る活躍を見せた。8番グリッドの野中もポジションを上げていき4位でゴールした。古谷が5位で続き、小林はスタートで順位を落としたことが響き、7位でレースを終えた。

雨模様となった23日（日）午前9時から行われたRound8は、安全を考慮してセーフティカー先導で始まった。6周目に解除されると、2番手につける中村は、直後の3コーナーでライバルを抜いてトップに浮上。そのまま後続を引き離して見事初優勝を飾った。5番手スタートの小林は、1つ順位を上げて4番手でレースを終えるも、他車のタイム加算ペナルティにより3位に繰り上がった。古谷は6位、野中は7位となった。

12時35分からのRound9は4番グリッドの野中が好ダッシュを決めてトップに浮上。レースをリードしていくが霧による視界不良でセーフティカーが導入され、そのまま終了。野中が今季3勝目を飾った。中村は3位、小林が5位、古谷が6位となった。

After Race



速さを維持できていたので、そこは自信になりました。

ドライバー 中村 仁

35

2レース目は運が味方したところもありましたが、最後までしっかりと逃げ切って勝てたことは良かったです。Round9も勝って週末を締めくくりたかったところでしたが、スタートがうまくいかず、悔しい結果になりました。



あの予選ポジションから、追いつけられたのは大きい。

ドライバー 野中 誠太

36

マスタークラスを除くと最後尾から着実に追いつけることができました。特に後半の2レースは、これまでの雨のレースの経験を活かすことができたかと思います。3レース目ではスタートで前に出ることができて天気も味方につけて勝つことができました。



全体を振り返ると、反省点の多い週末でした。

ドライバー 古谷 悠河

37

1レース目は1周目の最終コーナーで加速が鈍って野中選手に抜かれたのがもったいなかったです。日曜日は2レースともペースが悪く、3レース目に関しては3コーナーで外に膨らんでしまったことや、どうにかできなかったものかと反省しています。



色々あった週末でしたが、最後は上手く行って良かったです。

ドライバー 小林 利徠斗

38

スタートで挽回したい気持ちがありましたが、1レース目では位置どりをミスしてポジションを落とす形になりました。日曜日は雨となりましたが、特に3レース目ではスタートや接近戦がうまくできたと思います。



中村と小林は勢いを継続してもらい、野中と古谷は今回を糧に次戦に期待したいです。

チーム監督 山田 淳

今大会では中村が速さをみせていて初優勝も飾りました。勢いがあるので、今後が楽しみな逸材です。小林も良いところをたくさん持っているので、中村に負けないように頑張ってもらいたいです。野中は今回の反省点を次回に活かしてもらいたいです。

Race Scene



トヨタモビリティ中京

KUO
GROUP

Deloitte. **PONOS**



坪井工業



損保ジャパン

東京アーバンコンサルティング

Happiness in Your Life
広島トヨペット
HIROSHIMA TOYOPET TECHNICA

HTP Racing

Vバンテリン

PET #30

LAC

S&D
TAMA GROUP

EDIFICE
CASIO

"ART"

TGR-DC
TGR Driver Challenge Program

GR Toyota GAZOO racing

TRD

ThreeBond

PFC
BRAKES

ENKEI